

楽々集計ソフト 2 Ver2.00 簡単ガイド

DXアンテナ

付属していますサンプルデータを使用した楽々集計ソフトの使い方の説明です。
詳細につきましては、CD-ROM内にデータ収録しております取扱説明書(PDF)をご覧ください。

① ソフトのセットアップ

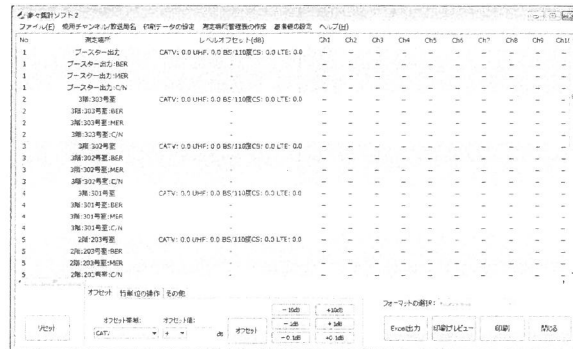
- ① 楽々集計ソフト 2 をパソコンにインストールしてください。CD-ROM 内 “setup” フォルダの “setup.exe” をダブルクリックすることでインストールを開始します。(詳しくは取扱説明書 “4.2 ソフトのインストール”を参照してください。)
- ② CD-ROM 内に収録されています、“測定データサンプル” フォルダをご使用のパソコンにコピーしてください。簡単ガイドではこちらのサンプルデータを使用します。



② データの読込

ここでは CD-ROM 内にデータ収録されておりますサンプルデータを使用した、本ソフトの使い方について説明いたします。

- ① デスクトップに作成された “楽々集計ソフト2.exe” のショートカットアイコンをダブルクリックして、ソフトを立ち上げてください。
- ② 測定場所管理表の選択画面では “測定データサンプル” 内に入っている “マンション(サンプル).csv” を選択してください。測定データ場所の選択画面では “マンション(サンプル)” フォルダを選択してください。
- ③ 下記のような画面が表示されましたら正常に読込が完了です。



(表示例)

③ 操作画面の説明

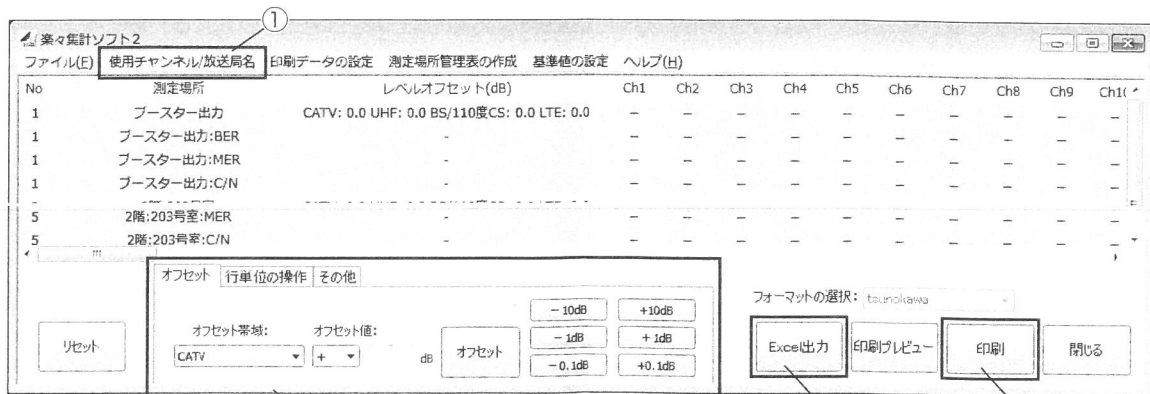


図 1. 集計結果 (表示例)

① 使用チャンネル/放送局名

測定報告書に表示したいチャンネルと放送局名について設定を行えます。右図①のようにチェックマークを付ける事で表示されます。最初は読み込んだデータに含まれているチャンネルにチェックが入っています。



② タブ設定

(a) オフセット

図1. 集計結果例の No1 の“ブースター出力”の行を左クリックにより選択して、右図②のようにタブをオフセットに切り替えてください。そしてオフセット帯域を“UHF”にし“+10dB”のボタンを押すと、UHF 帯域のチャンネルのレベル+10dB されます。

②

オフセット | 行単位の操作 | その他

オフセット帯域: UHF オフセット値: + dB オフセット

(b) 行単位の操作

図1. 集計結果例の No1 の“ブースター出力”の行を左クリックにより選択して、タブを行単位の操作切り替えてください。そして右図③の DOWN ボタンを押し、No1 のデータの表示順序を1つ下げます。

③

オフセット | 行単位の操作 | その他

行の並び替え

 移動先の行No
 移動

(c) その他

図1. 集計結果例の No1 の“ブースター出力”の行を左クリックにより選択して、タブをその他に切り替えてください。そして右図④の四捨五入ボタンを押すと、表示されているデータが整数で表示されます。

④

オフセット | 行単位の操作 | その他

上記 (a) ~ (c) の操作を行いますと下記のような状態になります。

No	測定場所	レベルオフセット(db)	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	Ch6	Ch7	Ch8	Ch9
1	3階:303号室	CATV: 0.0 UHF: 0.0 BS/110度CS: 0.0 LTE: 0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	3階:303号室:BER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	3階:303号室:MER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	3階:303号室:C/N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	ブースター出力	CATV: 0.0 UHF: 0.0 BS/110度CS: 0.0 LTE: 0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	ブースター出力:BER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	ブースター出力:MER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	ブースター出力:C/N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(表示例)

③ Excel出力

“Excel 出力” ボタンを押す事で測定報告書を Excel 形式で保存する事ができます。Excel が自動的に立ち上がりますので、処理が終わるまではお待ちください。

④ 印刷

“印刷” ボタンを押す事で、現在の内容で測定報告書を作成する事ができます。